

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	下水道河川課担当課長 杉田 公敬
都整-32 河川維持補修事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 下水道河川課
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課 総合防災課
総合計画上の位置付け	分野	下水道・河川
	施策の方針	水辺環境の整備・創出・管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るとともに、市民等に親しまれる河川づくりを進めるため。
効果	河川護岸の崩壊等を未然に防ぐことや、市民等に親しまれる河川づくりを目指す。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・準用河川神戸川の維持修繕工事を行った。 ・準用河川砂押川の維持修繕工事については、前年度からの繰越分を含めて実施した。 ・準用河川のしゅんせつを行った。 ・神奈川県下の治水及び利水に関する企画、調査及び研究や治水及び利水事業の促進を目的として、県内市町村で構成されている、神奈川県河川協会へ参加した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	31,909	15,819	当初予算(千円)	53,468			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他	1,186	1,490	その他	1,938			
	一般財源	30,723	14,329	一般財源	51,530			
事業運営	人員配置数	0.7	1.0	人員配置数	1.0			
	人件費(千円)	5,370	7,782	人件費(千円)	7,851			
	総事業費(千円)	37,279	23,601	総事業費(千円)	61,319			
	市民1人当りの経費(円)	210	133	市民1人当りの経費(円)	347			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	河川による浸水対策等は、市民の命や財産等を守るために重要であり、長寿命化計画を策定し、補助金を確保していく。		
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	市民要望が増える中、要望に対応するためには、事業費は削減できない。引き続き、雨水排水施設の維持管理を平成27年度に策定した「鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画」に基づく予防保全型管理を行い、事業を推進する。
-------------------	---

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	財源確保が厳しいことから、河川施設の修繕が予定通り実施できていないため、今後、施設の良好な維持管理を保持することが危惧される。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	規定の予算内で施設の修繕、改修を行うため、安全性を考慮しながら、低廉な工法を選定し、実施した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	準用河川修繕計画に基づく、修繕必要箇所が多数残っている。 平成27年度に策定した「社会基盤施設マネジメント計画」に基づく予防保全型管理を行うとともに、インフラストックを調査し、現状把握に努め、長寿命化計画を策定し、補助金を確保しながら、事業を推進する。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	河川講習会					単位	回	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
河川行政において職員の知識の向上が必要なため。	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0			
	実績値	2.0	2.0							
	達成率	40.0%	40.0%							
指標の内容	準用河川の修繕					単位	m	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
準用河川において継続的な修繕が必要なため。	目標値	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0			
	実績値	23.0	27.0							
	達成率	65.7%	77.1%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input checked="" type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--